

議会だより

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津23番地



第44回大島本島南部町村議会議員大会

目次 Contents

- 2 こんなことを決めました 第4回臨時会・第4回定例会
- 3 第4回定例会 議決結果
- 4 町政を問う！一般質問
- 10 活動報告

Topics
第4回臨時会
令和7年
11月26日

こんにちは
決めました

Topics1
90総トン型アルミニウム合金製貨客船1隻 船舶建造工事請負変更契約の締結について

【議案第83号】

契約変更の経緯と予測可能性について

問 泰山議員：昨年12月に当初の契約が可決されたが、今回の変更内容（国交省の指摘や船員の要望、物価上昇など）は、当初の段階で汲み取るのが難しかったものなのか、今後の参考のために確認したい。

答 当初はプロポーザル方式で公募し事業者を決定した。その後、詳細な打ち合わせを行い仕様を決めていったが、今年の8月頃に金額的に厳しいという相談があった。瀬戸内町だけでな

令和7年第4回瀬戸内町議会臨時会 議案・審議・議決結果

くJ R T T（鉄道・運輸機構）の承認や国庫補助金の変更手続きに時間がかかり、今回の臨時会での提案となった。

議案番号	件名	議員名（議席番号順）										議決結果
		栄克人	里山正樹	伊東さおり	中村洋康	泰山祐一	永井しずの	柳谷昌臣	元井直志	池田啓一	向野忍	
65	90総トン型アルミニウム合金製貨客船1隻船舶建造工事請負変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

賛成 ○ 反対 × 欠席 △

※向野議長は議長職の為、特別多数議決以外の議案について表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

Topics
第4回定例会
令和7年
12月9日から
12月11日まで

こんにちは
決めました

Topics1
令和7年度瀬戸内町一般会計
補正予算第6号

【議案第84号】 原案可決

●山郷地区仮設トイレについて

問 柳谷議員：設置の周知方法と交通安全対策は。

答 周知は検討する。場所がカーブ付近のため交通安全対策も徹底する。

問 実証実験後の設置場所は。

答 集落と協議して確定する。

Topics 2
血液供給体制に関する請願

【請願第1号】

「瀬戸内町・奄美大島・奄美群島の血液供給体制に関する請願」が採択されました。

Topics 3
教育委員会委員の任命について

【同意第3号】

教育委員会委員として福田豊久氏の任命に同意しました。

Topics 4
久慈地区 R6-1工区（農地・道路・水路）請負変更契約の締結について

【議案第100号】 可決

内容 令和5年度の災害復旧事業（久慈地区）に関する契約変更です。主な変更点は、農業用ハウス（3連1棟）の撤去工事を追加するもので、請負金額が約382万円増額され、総額7,434万2,000円となりました。

結果 起立多数により可決されました。

令和7年第4回瀬戸内町議会定例会 議案・審議・議決結果

議案番号	件名	議員名（議席番号順）										議決結果
		栄 克 人	里 山 正 樹	伊 東 さ お り	中 村 洋 康	泰 山 祐 一	永 井 し ず の	柳 谷 昌 臣	元 井 直 志	池 田 啓 一	向 野 忍	
84	令和7年度瀬戸内町一般会計補正予算（第6号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
85	令和7年度瀬戸内町巡回診療施設特別会計補正予算（第4号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
86	令和7年度瀬戸内町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
87	令和7年度瀬戸内町介護保険特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
88	令和7年度瀬戸内町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
89	令和7年度瀬戸内町船舶交通事業特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
90	令和7年度瀬戸内町農業集落排水事業会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
91	令和7年度瀬戸内町簡易水道事業会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
92	令和7年度瀬戸内町水道事業会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
93	瀬戸内町課設置条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
94	瀬戸内町政治倫理条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
95	西古見GATEの設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
97	瀬戸内町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
98	瀬戸内町過疎地域持続的発展計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
99	瀬戸内町における辺地総合整備計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
同意 3	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
100	久慈地区 R6-1工区（農地・道路・水路）請負変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

賛成 ○ 反対 × 欠席 △

※向野議長は議長職の為、特別多数議決以外の議案について表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

町政を問う！

一般質問
7名の議員登壇

一般質問とは議員が町政全般にわたり、町の考えを問うものです。

通告1 柳谷 昌臣 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5

- 自衛隊施設整備について【町長】 ●DX推進について【町長】 ●河川の伐採について【町長】
- 議会からの意見について【町長】 ●職員の資質向上について【町長】

通告2 泰山 祐一 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5

- せとうち未来展望 2050 について【町長】 ●町制施行70周年について【町長】
- ドローン事業について【町長】 ●子育て支援について【町長】 町長の政治姿勢について【町長】

通告3 里山 正樹 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6

- 農業振興・地域活性化について【町長】 ●へき地診療所休床ベッドについて【町長】
- 介護人材確保と資格取得支援について【町長】 ●専門職の給付型奨学金制度創設について【町長】
- 介護施設物価高対策について【町長】 ●奄美大島を修学旅行先として誘致する取組みについて【町長・教育長】

通告4 中村 洋康 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7

- 令和8年度当初予算編成について【町長】 ●町制施行70周年について【町長】
- 加計呂麻島・請島・与路島の島毎の振興対策について【町長】 ●ドローン事業について【町長】

通告5 永井 しずの 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7

- 久慈農泊施設『あらとんとんの館』の今後の展望について【町長】 ●瀬戸内町の持続可能な介護について【町長】
- 庁舎内の機構改革について【町長】 ●池地小中学校、与路小中学校の今後について【教育長】
- 認定子ども園について【町長】

通告6 伊東 さおり 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8

- 海の駅 レンタルスペースについて【町長】 ●フェリーの運賃及び車両航送運賃助成事業について【町長】
- ライドシェアについて【町長】 ●町内、町道、林道の美化について【町長】 ●ゴミ袋について【町長】

通告7 栄 克人 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9

- ゴミのポイ捨て防止条例制定について【町長】 ●フェリー加計呂麻の荷物受け取り体制の改善について【町長】
- 人件費の効率化と持続可能な財政運営について【町長】 ●ふるさと納税について【町長】



柳谷 昌臣 議員



自衛隊施設整備について

問 須手地区における自衛隊海上輸送施設整備の進捗状況について伺います。

答 防衛省から「部隊を迅速に機動展開する能力を構築するため、南西地域における輸送・補給基盤（港湾施設）の整備を目的として、令和5年度から測量調査や土質調査等の適地調査を実施し、適地調査の結果を踏まえ、令和6年12月に、古仁屋港において港湾施設の整備が可能と判断したことから、今後、港湾施設の整備を進めていく」との説明があり、令和7年度においては、約2億円の予算で令和7年度から令和8年度末にかけ、実施設計を行っている状況であると認識しています。今後は、実施設計の進捗に伴い、港湾施設の整備に関する各種手続きに

移行されると認識しております。

問 防衛省による町民に対する説明会の開催について、伺います。

答 町としては、防衛省に対し、施設工事全般計画、建設施設の概要（完成予想図）等、準備が整い次第、速やかに住民への説明を実施するよう依頼・要請をしているところであり、今後も引き続き国とは密に連携を図りつつ、適切な時期に住民への説明を行うよう調整いたします。

問 自衛隊宿舎（隊舎）の新たな整備計画について伺います。

答 令和7年度防衛省予算において、隊員及びその家族が居住する宿舎の整備に係る経費として約10億円が計上されており、更には令和8年度概算要求で約25億円が計上されております。この概算要求額は奄美市、瀬戸内町が含まれているものと承知しています。防衛省によりますと、各種調査、調整を実施した結果、瀬戸内警察署武道場裏の町有地が適地と判断され、現在手続きが進められていると説明を受け

ています。

問 本町での防衛補助事業の活用について伺います。

答 瀬戸内町において、過去に実施した事業または実施中の周辺対策事業は、「障害防止工事の助成」として道路整備。民生安定施設の整備の助成として、ごみ処理施設・し尿処理施設・消防自動車等の購入・清水公園改修工事等を実施しています。また、令和6年度、7年度に交付された訓練交付金として、消防団資材搬送車・消防団可搬式小型ポンプ等の購入があります。

しかしながら、補助事業の採択に当たっては、自衛隊等の行為、防衛施設の設置・運用に伴う因果関係が必要であり、また、各種制度は非常に複雑なものであることから、事業の実施に当たっては、国とも情報共有を密にしつつ、町としては、助成対象となる事業についてあらかじめ情報をまとめておき、時期を失することなく有効に活用し、町民が快適に生活できる環境の整備を行っていく必要があると認識しております。



泰山 祐一 議員

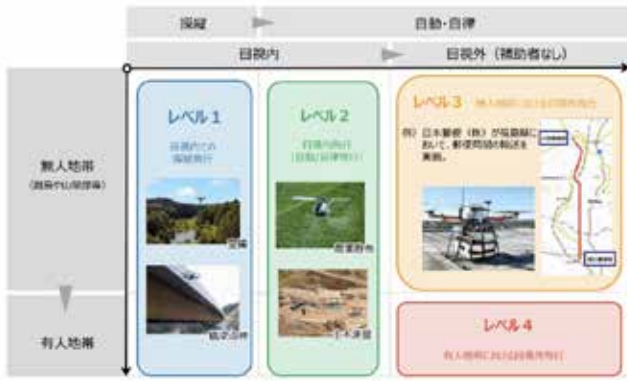


ドローン事業について

問 奄美アイランドドローン株式会社（AID）の存続期限が令和8年3月31日であることを踏まえ、マニフェストやせとうち未来展望2050に掲げる「ドローン活用」を令和8年度以降どのような体制で継続するのか、また会社を解散する場合、株式や知的財産、運用データ、設備機材をどのように承継・管理・活用するのか伺います。

答 町長…AIDの取組により一定の知見を蓄積でき、目的は達成したと判断し、令和8年3月31日で満了となります。来年度以降は町が主体となり、防災・災害対応など公的業務を中心にドローン等を活用した地域サービスを展開します。株式や知的財産等は契約に基づき適切に処理します。

小型無人機（ドローン）の飛行レベル



画像出展…無人航空機に係る制度検討の経緯について(国土交通省)

問 レベル3.5での物資輸送は一旦休止となり、体制は後退します。事業計画や契約内容が非公開の資料があまりにも多い中進められ、「適切」と言われども、我々は「適切か」分かりません。我々議会は町民からご負託を受け、予算執行を監視・チェックする議決機関であり、日本国憲法にもその役割が明記されています。適切かどうか分からない状況のままでは、監視機能を果たせません。知的財産や運用データ、設備機材の契約がどうなっているのかをお示しいただきたい。

答 財政補佐…AIDで得られた知見やノウハウを土台に、新年度に向けて町が主体となり自立した事業として進めます。マニュアルはJAL、飛行データはヤマハ、運行データはAIDのものとなります。

泰山 知的財産である運航マニュアルがJALにあり町に残らないのは大きな問題です。蓄積した経験を生かすためにも、申請に不可欠なマニュアルへの配慮を求めます。



里山 正樹 議員



農業振興・地域活性化
について

問 山郷地区網野子集落で民間が進める体験型農園等の整備に対し、町として主体的に協議し伴走型の支援体制を構築すべきではないか。また、営農支援センターの水不足対策はどうなっているか。

いるか。

答 全体への波及効果が大きいモデル事業と考え、地元企業や農家と協議を進める。

水不足については、地下水を活用した施設整備に向け県と協議中である。

へき地診療所の休床ベツ
ド利用について

問 休床中の病棟を徳洲会病院へ移管するか、病児保育施設として活用すべきではないか。

答 病床移管は地域医療構想上の調整が必要で慎重に進める。施設の利活用については運営委員会等に諮り検討する。

介護人材確保と資格取得
支援について

問 町内で介護職員初任者研修等が受講できる環境整備を行う考えはあるか。

答 町での研修実施体制の整備は考え

ていないが、受講費用への助成など人材確保に資する支援策を検討する。

給付型奨学金制度創設
について

問 医療・福祉等の専門職確保のため、地元就労を条件とした給付型奨学金を創設できないか。

答 給付型ではなく、町内で医療・福祉職に就く定住者を対象に、奨学金返還の一部を助成する制度を設計中である。

介護施設の物価高対策
について

問 食材費等の高騰に苦しむ施設や宅配給食サービスに対し、補助制度を検討する考えはあるか。

答 国の地方創生臨時交付金の活用に加え、町独自の支援についても検討したい。

修学旅行の誘致について

問 中学生からの提案を受け、本土からの修学旅行誘致に向けた検討・体制づくりを進められないか。

答 観光協会と連携し体制づくりを進める合意は得ている。大人数の受入施設不足等の課題はあるが、少人数での体験交流などから推進したい。



中村 洋康 議員



令和8年度当初予算編成について

問 当初予算編成の重点項目及び新規事業等について。

答 重点項目は子育て支援の充実、ICT機器を活用した教育、農業の振興、陸上交通の安全対策、文化と観光、海洋における自然保護活動、ふるさと納

税の取組等、新規事業については、町制施行70周年記念事業、節子地区のため池、網野子地区の排水路の浸水被害防止工事、交通空白解消緊急支援事業にかかる実証実験の継続及び加計呂麻島民車両航送料補助等です。また、地域内経済循環の拡大対策として、公共事業や地域サービスの提供に際し、町内事業者の活用機会の確保に努めます。

町制施行70周年

について

問 町制施行50周年の際に発刊された地元新聞掲載の瀬戸内町関連記事をまとめた『新聞資料集』について、その続編となる資料集の編纂・刊行できないか伺います。

答 地元新聞社の協力が必要ですので調整して検討していきたいと思います。

問 70周年という節目にあたり、集落集会所等整備事業分担金徴収条例の分担金について見直し（減額等）できないか伺います。

答 人口減少などの社会情勢の変化を踏まえ、新たな展開に向けた前進のためにも70周年という節目を契機に一定の結論を出すことは重要と考えますが、これまでの経緯や関係者の理解も踏まえる必要があることから今後の検討課題としたいと思います。

ドローン事業について

問 奄美アイランドドローン（株）の更新については住民等の意見を踏まえ検討するという答弁でしたが、その後の取り組み状況を伺います。

答 奄美アイランドドローン（株）の目的を達成したと判断し、令和8年3月31日で満了となります。

久慈農泊施設

『あらとんとの館』の今後の展望について



永井 しずの 議員



問 「あらとんとの館」と「西古見ゲート」を連携させ、西方全体を活性化させる具体的な施策を伺います。

答 両施設の連携は不可欠であり、通過型から滞在型観光への転換を図る。具体的にはタンカン収穫や釣りなどの体験メニューを充実させ、民間事業者や旅行会社と協力してPRを行うことで、両施設の強みを活かした相乗効果を生み出していく。

持続可能な介護について

問 町内の介護施設が今後継続していくための町としての施策を伺います。

答 運営支援として国の報酬改定や物価高騰対策分を確実に反映させる。また、事業所ごとの強みを活かして地域全体でサービスを維持できるように、定期的な協議の場を設け、持続的な運営を支援したい。

庁舎内の機構改革について

問 課を統合した事でのメリット・デメリットを伺います。

答 改革の目的は組織の持続可能性と効率化である。高校支援業務等については、専門職であるコーディネーターを配置しており、職員が異動しても連携して対応できる体制を整えている。

池地小中学校・与路小中学校の今後について

問 休校や存続の危機にある池地・与路校に対し、留学生募集等の対策と現状はどうなっているか伺います。

答 留学制度の補助拡充や、関西郷友会への直接的なPRを実施した。与路

校の里親募集については問い合わせがあり、現在面談を進めている。

認定こども園について

問 町として将来『認定こども園』を創設する予定はあるか伺います。

答 過去のアンケートでは要望が少なかったが状況が変化しているため、令和8年度の方針策定や令和9年度頃の高丘保育所建替計画時に、認定こども園の設置を再検討したい。



伊東 さおり 議員



海の駅レンタルスペースについて

問 1時間2,400円の使用料は、テナント料(月額換算)と比較しても公共施設として高額すぎるのではないか。利用実態に合わせた減免や、テ

ブル備え付けなどの改善策を伺います。

答 料金は他施設と比較しても適正と考えるが、使用面積や販売の有無などを考慮した減免については検討する。テールは寄贈があれば受け入れ、活用を考えたい。

フェリー運賃及び助成について

問 自動車航送運賃の島民割引の進捗状況と、カケロマ地域の売店維持のため仕入れにかかる貨物運賃の免除について伺います。また、車検時助成の予算残額を他の助成に回せないか伺います。

答 島民割引は令和8年度内の実施に向け取り組んでいるが、国・県から運賃自体の値上げ指示も受けており、貨物運賃の免除は経営上困難である。車検助成予算の目的外使用はできないが、利用促進に努める。

ライドシェアについて

問 開始後の利用状況と課題、料金設定の根拠を伺います。

答 11月末時点で、268件の利用があり、課題は特になく好評である。料金はバスより高くタクシーより安い設定とした。

林道の美化について

問 ソテツのカイガラムシ被害対策や林道の伐採時期について伺います。

答 カイガラムシ被害は私有地が多く対応困難だが、薬剤支援を検討する。林道伐採は生活路線を優先する。

資源ゴミ袋について

問 資源ゴミ(瓶)用の小袋がなく、高齢者が大袋を使うのは不便かつ不経済である。回収後に袋を開封するので

あれば、透明なレジ袋での排出を認めてほしい。

答 小袋は需要が少なく作製が難しい。レジ袋での排出はゴミ散乱の懸念もあるが、住民の要望を踏まえ協議を検討したい。



栄 克人 議員



ゴミのポイ捨て防止条例 制定について

問 7月に提案したゴミのポイ捨て防止条例の検討状況はどうか。ボランティアの活動に報い、教育的観点からも条例制定が必要と考えるが、町の見解を問う。

答 条例については、罰則の実効性に課題があるほか、単独での制定は「ポイ捨てが多い町」という負のイメージを招く懸念があるため、現在は検討していない。他町村と連携して考えてい

きたい。当面は看板設置や、空き缶への吸い殻混入防止などのマナー啓発に努める。

フェリーかけるまの荷物 受け取り体制の改善 について

問 フェリーかけるまの14時便における荷物受取の混雑緩和について、船員の負担を増やさない形で人的補助や改善策を求める。

答 受付は出港30分前から行っている。常時の補助員導入は難しいが、年末等の繁忙期には補助員を配置して対応する。また、大口利用者への月締め請求等の対応で窓口負担の軽減を図っている。

人件費の効率化と持続可 能な財政運営について

問 人件費が高騰し財政の課題となっている。施策の費用対効果の精査や、課の統合による人員削減など、持続可能な財政運営に向けた具体策は何か。

答 現状のままでは将来的に行政サービス維持が困難になる可能性がある。事業評価による実行判定やDXによる事務改善を行うとともに、課・係の統合を通じて業務効率化と適正な人員配置を進め、行財政の再構築を図る。

ふるさと納税について

問 ふるさと納税の現状と次年度の目標は。目標達成には、島唄教室のような独自性のある返礼品開発や、PRの強化が必要ではないか。

答 11月末実績は約8,000万円で前年比増となっている。次年度は寄付額1億7,000万円を目標とし、返礼品の掘り起こしや体験型商品の拡充、SNSや物産展での対面PRを強化する。また、離島特有の輸送費課題については、制度設計への配慮を国へ要望している。

活動報告

瀬戸内町
文教厚生
常任委員会

Topics1
所管事務調査
「瀬戸内町の持続可能な介護に
関する調査」を実施しました。



令和8年1月19日に先進自治体である、鹿児島県さつま町、鹿児島県湧水町の事例を本町の施策への反映を目的として視察を実施しました。

◇さつま町における
配食サービスの現状

さつま町では、独居高齢者等の栄養改善と安否確認を目的とした町単独事業を継続しています。

□徹底した対面手渡しによる見守り

原則として対面での手渡しを徹底し、応答がない場合は家族等の許可を得て、家の中に入って声掛けを行うなど、非常にきめ細かな運用がなされています。

□救急搬送への迅速な対応実績

配食時の見守り活動により、令和6



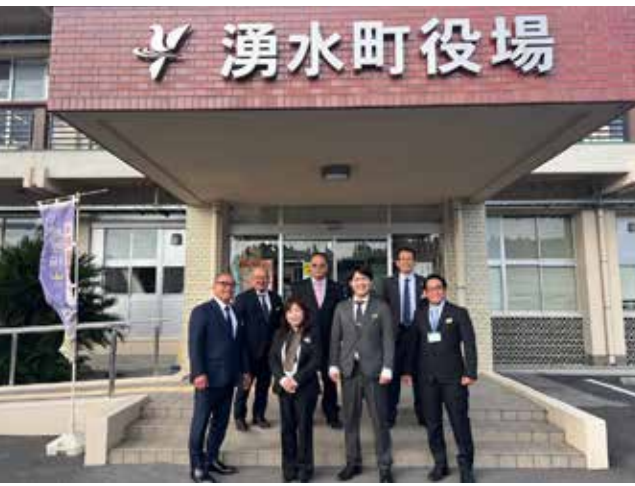
年だけで熱中症でぐったりしている利用者者を5件発見し、救急搬送に繋げるなど、人命救助に直結する成果を上げています。

□一貫した運営体制

社会福祉協議会への委託により、調理から配達、容器回収までを一貫して行う体制を構築しています。

◇湧水町における医療介護
従事者奨学金および人材育
成支援の現状

湧水町では、将来的な介護職員の需要増加を見据え、2つの強力な支援事業を展開しています。



□介護人材育成支援事業補助金

介護福祉士や初任者研修などの受講費用の8割を補助。これまでに延べ33名が利用しており、専門資格の取得を力強く後押ししています。

□医療介護従事者奨学金貸与事業

医師、看護師、社会福祉士、介護福祉士など幅広い職種を対象に、月額3万5,000円程度の貸与を実施しています。

□定住を促進する返還免除制度

町内に住所を置き、町内の施設に勤務する場合などは、奨学金の返還が免除（または猶予）される仕組みを設け、地域に根差す人材の確保に努めています。



瀬戸内町
総務経済
常任委員会

Topics 1
第三セクターの運営についての
調査をしました。

竹富町が所有する貨物輸送船「つむぎ」について、視察・ヒアリングを実施しました。

「つむぎ」導入の経緯については、JAの貨物船「農協やえやま」の運行終了を受けて、その後継として町が公船を整備したものであり、本町と類似した背景を持っています。

船の建造に要した費用については、ふるさと応援寄附金及び沖繩離島活性化推進事業費補助金（沖振法、補助率十分の八）を活用し、残額を過疎債で補填、町の財政負担を最小限に抑えていて、本町とは異なる財源構成でした。

運航体制については、指定管理者制度を導入しています。

これまでの運航実績は毎月黒字を維持しており、指定管理料の支出も発生していないことから安定した経営がなされているようです。

加えて、貨物量の増加により、専用バースの整備が実現すれば、さらなる収益増が見込まれるとのことであり、本町における将来的な収支見通しとは大きな差異があると感じました。

竹富町は「建造費は補助金とふるさと納税で町が持ち、運営費は民間の経営努力で賄わせる（行政のランニングコスト負担を極小化する）」というシビアかつ野心的なモデルです。対して瀬戸内町側は、第三セクターとして行政が運営費を支えるモデルを前提としており、その「自立度」の高さが最大の相違点でした。



多機能型貨物輸送船「つむぎ」の船内見学



多機能型貨物輸送船「つむぎ」の接岸状況



多機能型貨物輸送船「つむぎ」前にて



竹富町議会議事堂での集合写真（大久議長と）

活動報告

防衛事業と
地域共生調査
特別委員会



海上自衛隊 下関基地隊の視察

本町に計画している自衛隊海上輸送施設と同規模である海上自衛隊下関基地隊を調査視察しました。
基地内の港湾岸壁、隊舎、宿舎、倉庫、燃料タンク等を案内・説明していただき、本町に計画している施設のイメージが具体化しました。



海上自衛隊 下関基地隊のみなさんと



説明・意見交換会

まちの未来が見える
議会傍聴においでください

次回の定例会は 3月3日の予定です

インターネットで生中継。
瀬戸内ケーブルテレビの録画放送でもご覧いただけます

- 議会報編集委員会
- 委員長 中村 洋康
 - 副委員長 栄 克人
 - 委員 永井 しずの
 - 委員 元井 直志
 - 委員 柳谷 昌臣
 - 委員 向野 忍
 - 委員 義永 将晃

本会議の様子は、映像でもご覧いただけますのでスマートフォンやタブレットでご視聴される場合は、右の二次元コードにカメラを向けることで視聴サイトへと繋がります。またパソコンでご視聴される方は、YouTubeで「瀬戸内町議会」と検索することでご覧いただけます。

